

2020年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年 4 月 20 日

事業所: らく相談室まなえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			
	4	設備・設備・備品等の感染症への対策は適切にされているか	<input type="radio"/>		常時換気を行い、一日4回物品のアルコール消毒を行っている。 加湿空気清浄機を複数台設置している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		職員の勤務日時が異なり、一同に集うことがないため掲示板を利用して全員が参画できるようにしている。	
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者委員の選定をした。次年度より実施する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	12	指導内容が固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			ケースカンファレンスを通して、目標に沿った記録の取り方を再確認していく。

関係機関や保護者との連携	14	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリング年間計画を立て、効率的に行うようにする。
	15	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	16	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	17	学校との情報共有を適切に行っている	○			
	18	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、必要に応じて子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	2020年該当者なし	
	19	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	20	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	2020年該当者なし	
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	22	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○			新型コロナウイルス感染症予防をおこないながら、より充実した支援プログラムが実施出来るよう検討していく。
	25	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		メールを活用した相談を始めた。	

保護者への説明責任等	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	28	予定や連絡事項等を、子どもや保護者に対して適切に発信している	○		情報発信のための通信「マナ通信」を今年度より月1回発行し、13号発行した。	
	29	個人情報に十分注意している	○			
	30	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		災害時避難マニュアル、感染症マニュアルを作成し所内に掲示している。	保護者向けアンケート結果から保護者等への周知徹底には至っていないようだ。今後は室内掲示だけでなく、通信等を通して発信していきたい。
	32	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	33	感染症マニュアルを厳守し、密集、密閉、密接の回避を徹底するとともに、手指の消毒、検温等体調の自己管理に努めている。	○		感染症等への注意喚起と健康管理の確認を行っている。	
	34	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修に参加した職員による伝達研修をおこなっている。	